

越嶺会報

令和2年(2020年)12月1日

第89号

発行 越嶺会本部

〒930-8555(富山市五福3190)

富山大学経済学部内

☎(076)445-6411(ダイヤルイン)

Fax(076)445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ

越嶺会

検索



後期大講義室での授業の様子 地域経済論A 小柳津(おやいず)教授2,3年生対象 201講義室

前期は五割以下に制限して講義していた(多数の場合は二回に分けて実施)が、後期は、マスク着用、アルコール消毒液で手指を消毒、検温タブレットで検温して授業を受けている。

目次

コロナ禍での経済学部の取り組み 森岡経済学部長	2	会員ひろば	11
越嶺随想		スケッチ絵葉書カレンダー	
富山大学経済学部の思い出		発行十五周年記念展示会	
中出孝典	4	宇奈月温泉木管事件碑をきれいに	
人生を豊かにしてくれた富山大学		河田稔(学部15回)	
酒井富夫	5	みんなが集うきれいな浜辺へ	
母校だより	7	小栗清光(学部18回)	
教員の異動/経済学部資料室だより		人生初めての経験	
本部だより	8	竹澤喜孝(学部22回)	
決算・予算報告/寄付御礼		卒業論文をお返しします	14
百周年に向けて準備会設置		卒論を受け取って	
各支部だより	10	寄贈図書の御礼と紹介	14
関東越嶺会役員交替		会員の訃報	16
石川支部オープン親睦ゴルフ		困窮学生支援のための修学支援基金寄付のお願い	17
		富山大学基金だより	18

コロナ禍での経済学部への取り組み

経済学部長 森 岡 裕

一年前には誰も想像しなかった(できなかった)コロナウイルスの蔓延という状況に直面して、様々な対策に追われているというのが正直なところだと思います。このような苦しい状況の中で、越嶺会の皆さまから学生に対して大きなご支援をいただいたことに感謝申し上げます。

経済学部の取り組みも含めてこの半年間の状況について、お知らせいたします。

新入生に対し

四月の初めに体験した大きな困難は、新入生に対するオリエンテーション関係の行事がほぼできなかったことだと思います。新入生に対して学生生活のことや学修の進め方等について説明する重要な行事ですが、それができなくなったことで学生(新入生)指導が難しくなりました。初年次教育において、入門ゼミ担当教員とゼミ生(十・十五名)の顔合わせによってきめ細かな新入生指導を行うことが経済学部の特徴・強みでしたが、それも行えなくなりました。そのため

めこの時期は遠隔方式(Zoomやアクティブ・メール等)による学生指導となりました。対面による顔合わせが行えたのは、七月三日でした。またPROGテスト(学生を持つ能力、リテラシーとコンピュータを測定するテスト)もWEB受験で実施しました。三年生を対象に後期に実施予定の同テストもWEBで行う予定です。

前期授業と後期授業

皆さまもよくご存知のことと存じますが、前期の授業は他の大学と同様に遠隔授業による実施となりました。経済学部では、第二ターム(六月二四日)から部分的に対面授業を開始しました。その際、対面授業への出席が困難な学生への配慮を授業担当教員に依頼することとなりました。また非対面授業と対面授業が並存することから、非対面授業であっても教室を確保し、大学で受講できる体制をとり、空き教室を開放するといった工夫を行いました。

後期の授業からは原則対面授業となりましたが、三密や飛沫感染



教壇にもパネル設置

学生九人が感染、授業は遠隔で。富山大学は十一月十八日(水)に学生五人が新型コロナウイルスに感染したと発表。十八日夜には正門に入構禁止の看板が出された。

さらに、十九日に三名、二十日に一名が確認され、今回の感染者は九名となった。

十九日から二三日まで学生は五福構内に立入禁止とし、部・サークル活動も停止とされた。

教員は在宅勤務、二四日から十二月二日まで遠隔授業を実施する。三日からは様子を見て通常授業に戻す予定。また、二五日の特別選抜、編入学試験は予定通り実施すると発表した。(十一月二四日現在)

を防ぐためのパネル設置等を行っています(教室、教務事務室等)。学生の課外活動は、現在は感染防止に注意をして実施できるようになりました。

オープンキャンパス、入学試験

大学や経済学部を高校生や保護者の方に理解していただく重要な行事であるオープンキャンパスも、対面ではなくWEBによる開催となりました。また入学試験については、受験生への配慮としていくつかの追試措置を用意することになりました。

教職員について

五月は在宅勤務や時差出勤等が実施され、大学は人気のない寂しい状況となりました。大学というのは人(学生、教職員)が集まって活動してこそ大学(学校)なのだというのを痛感いたしました。教務には普段は多くの学生がやってきますが、学生の姿はなく、教務の方も交代勤務で出勤されており静かな状況でした。経済(文系)の場合、在宅勤務でも研究が完全にストップするということはありませんが、移動や通勤が制約されるということは痛手となりました。学会等の研究活動もほとんどがオンライン開催となっており、対面による研究交流はスト

ップしています。

遠隔授業の利点

暗い話ばかりお伝えしているようですが、最後に明るい(肯定的な)話をさせていただきます。

遠隔授業ではその場で学生の反応を確かめることは困難ですが、学生が自分のペースで理解できるといふ点では強みを持っています。通常の講義(対面授業)では聞き流してしまうことも、遠隔授業では自分で理解できるまで学習できるという利点があります。また教員に質問しやすいというメリットもあります。

今後は対面授業と遠隔授業のメリットを活かす方向を目指していきます。良いのではないかと考えています。



コンピュータ室



図書館入口



教務室にもパネル設置



学生食堂



間隔を取って行列(食堂)

越嶺随想

富山大学経済学部思い出

経済学部教授 中出 孝典



平成二二年十月から経済学部経営法学科でお世話になりました。担当科目は経済法です。それ以前は公正取引委員会事務局に勤務していました。行政と大学という二つの世界を経験するという貴重な機会を与えていただき、大変感謝しています。公取と大学で経済法、すなわち独禁法に一貫して取り組んできました。

公取では最後の十年ほどは審判官として裁判官に類似した仕事をしていました。審判事件は、たとえば独禁法違反行為をしたとして公取から排除措置命令や課徴金納付命令という行政処分を受けた事業者が独禁法違反行為をしていないなどと争うものです。審判事件は原則として三名の審判官の合議体が担当しますが、軽微な事件では単独の審判官が担当することもあります。審判官は、審査官と被

審人の両当事者の主張・立証を踏まえて、公取の行政処分の適法性を判断します。したがって、審判官の仕事は、チームプレイである普通の行政機関の仕事とかなり違い個人で行う範囲が広いです。しかし、審判官の仕事の進め方は、一人で授業を行い、研究をする大学教員と基本的に似ています。そこで、大学での仕事を始めるに当たって、それほど違和感はありませんでした。

研究については、出版社から原稿の執筆依頼があったときは、必ず引き受けるという方針でした。富山大学に赴任してから日本経済法学会に加入しました。同時に、根岸神戸大学特命教授が会長を務める関西経済法研究会に加入しました。関西経済法研究会は原則として毎月一回、大阪市の公正取引委員会事務局近畿中国四国事務所で開催されます。研究会には川濱京都大学教授、泉水神戸大学教授、武田大阪大学教授をはじめ有力な研究者が参加しており、毎回活発な議論が行われています。泉水教授や川濱教授が有斐閣の重要判例解説の経済法の部分の取りまとめを担当されることもあったので、私も二回、重要判例解説の執筆者として選んでいただきました。さらに、泉水教授と武田教授は経

済法判例百選(第2版)の編者でしたので、私も執筆者に加わることができました。

平成二六年十月十八日(土)には日本経済法学会の研究大会が富山大学で開催されました。私は会場や懇親会会場の手配、昼食用の弁当の手配などの準備を行い、当日は、専門ゼミの学生の協力を得て、受付、会場への誘導、弁当の配付、懇親会会場への誘導といった仕事をしました。

教育については、経済法の授業を昼間主と夜間主で行いました。令和二年度前期には、新型コロナウイルスの感染防止のため、初めて遠隔授業を行いました。分かりやすく、興味や関心を引く授業を目指しましたが、なかなか実現はできませんでした。最初、専門ゼミ生は各学年六名ほどでしたが、最近では専門ゼミ生を各学年十名受け入れました。たとえば三重県や岐阜県から来た学生の中には、とても元気のいい人がいました。専門ゼミ生は自ら堅実に就職活動を行い、ほぼ出身県の企業や地方公共団体に就職しました。

学内の活動で印象に残っているのは、台湾の銘傳大学との大学間協定の締結です。具体的な仕事は経営法学科の岩本先生が進めまし

た。私はたまたま経済学部の国際交流委員会委員長として、大学間協定の締結に関与しました。銘傳大学の実質的な窓口は法学部の顔(がん)教授でした。顔教授は経済法が専門であり、東北大学大学院で学んだ方です。そして、顔教授の指導教官が公正取引委員会事務局出身の平林先生であり、私も平林先生と一緒に仕事をしたことがありました。このように世界は意外に狭く、何らかの縁があったのだと思いました。大学間協定の締結準備のため、一度、岩本先生と一緒に台湾を訪れました。最終的な大学間協定の締結に当たっては、遠藤学長、中村和之経済学部長、私と岩本先生の四名で銘傳大学を訪れました。その後、この大学間協定に基づき、銘傳大学から留学生が富山大学にやって来たと聞いています。この大学間協定を基に、富山大学と銘傳大学との交流が着実に進んでいくことを期待しています。

さらに、経済学部の紹介のため、上市高校、富山南高校、福岡高校、富山国際大学付属高校といった県内の高校を訪問しました。

最後に、越嶺会会員の方々のご健康とご活躍を祈念しています。

(なかで・たかのり)

人生を豊かにしてくれた

富山大学

酒井 富夫



一九九〇年(平成二年)、富山大学に着任したのは三四歳の時でした。以来、三〇年間、私を見守ってくれた家族への感謝はもちろんのこと、以下に述べるように富山大学を通して多くの側面から私の人生は支えられました。本稿は、思い出と感謝の一筆です。

富山時間のテンポ

一八歳まで富山県で高校生活を過ごし、その後、東京へ。大学、大学院と長い学生生活を過ごしたあと、JA系統のコンサルタント機関に三年間勤務したのち、ご縁があつて十五年ぶりの富山へのUターンでした。当時は、全国どこに職があつても行くつもりでしたが、思いがけず故郷に仕事があり、誠に偶然で運命的な機会でした。当初から意欲満々だったわけでは

しかし、再び富山に戻った時は、東京での生活スタイルに順応していた私にとって、富山の時間的テンポにはついていけませんでした。そもそも東京では自家用車など必要ないと考えていた私は、富山では路面電車を利用することが多かったのですが、その路面電車が来るのが遅い。時間になっても現れない。よくホームを蹴とばしていたものです。私の中では、数分おきに定刻で運転している東京の電車が当たり前だったのです。そんな中、ふと「都会のねずみ、田舎のねずみ」の寓話が頭をよぎりま

した。都会と田舎は違って当たり前、田舎には田舎なりの生活、楽しみ、時間のテンポがあつていいのだ。食べ物はおいしいし、電車が遅ければ待てばいい。どうしても急ぐ機会が増えるのなら、車を持てばいい。秒単位で動く世界よりも、仕事の生産性は落ちるかもしれないが、ゆったりした時間の中で暮らしたほうがいい。徐々にそう考えるようになって、富山が最高のテンポの時間を提供してくれる空間となりました。

職場のつながりを体験しました

着任時は、経済学部校舎の建て替え前の時期で、外壁が落ちる可能性があるということで周辺にはロープが張られていました。新築

前ということだったと思います。が、着任時の研究室は、向かいの教養校舎のなかに割り当てられて



いました。その教養校舎では、研究室の中での水道がなく共同で使っていました。が、あまりきれいな水とはいえませんでした(その後、その教養校舎も新築)。職場環境としてはエライところに来たなと思いましたが、はじめて個室で研究ができるという満足と次にみるような職場のつながり・あたたかさ、私を元気づけてくれました。写真は、着任した頃の経済学部親睦会での年に一回の親睦旅行のもので(一九九一年(平成三年)、福井)。当時は、一泊一日半でこうした親睦旅行をやっていました。ほとんどがすでに定年された諸先生方で懐かしいですが、こうした中で、「この先生はこんな特技?」「悪癖?があるのか」と各先生の全体像に触れる機会となり、ぐっと話しやすくなりました。皆さん不満はありませんが、また、意見も違うながら、一丸で頑張っているという思いが感じられました。

学生から「教育」を教えられる

私は、「農業政策」講義を担当してきました。着任して講義内容も落ち着かない頃だったと思います。夜間主の講義を終えて、ふと廊下の黒板を見ました。そこには、「農業政策、こんな内容の講義をやりやがって」的な内容が記されていました。学生からの痛烈な批



判でした。その時までには私が学んできたことを如何に教えるかに注力していましたが、それではダメだということがわかったのです。当たり前の話ですが、その時の学生とのニーズ（学習内容やレベル等）に対応したものでなければ理解してくれない。そのニーズを把握するのは、常に学生と対話していなければならないということです（この点、コロナ禍の今日、大学で学ぶ意味にもつながります）。それ以降、講義の内容が変わりました。

なるほど、学生の頭の中はそこまですべて変わっているのかと思ひ知りました。「戦後」といえば第二次世界大戦後と当然に理解していたのです。さらに試行錯誤の連続で、講義で話を聞いているだけでは限界があると思ひ、課外授業として農場の現場をみんなで訪問したことがありました。バスを借り上げて、中山間地域の農場に向かいました。中山間地域の生活や農業のあり方を実感してもらおうと企画したのですが、実施後のレポートの中にふと目に留まった感想がありました。「農家って、たくさん生き物がいるんですね」。確かに、鶏、山羊、合鴨、猫など、いろんな生き物がいる農場でした。小動物や目に見えない微生物なども含め、今日で言えば生物多様性を直観していた学生の感想でした。直接観ることが、おそらく一生忘れられることのない「学び」なのです。

このような学生の反応が、私の頭の位置を常に修正してくれたのです。写真は、現地畜産農場を視察しながら、ゼミ合宿を行った時のものです（二〇一〇年（平成二十二年）、飛騨）。

研究領域は広がった

着任した当時、東京時代からの延長で、「農業法人に関する研究」というテーマで博士（農学）

を取得したのは一九九四年（東京大学）でした。その後、二〇〇一年に極東地域研究センターが設置され、私はセンター専属の教員として配置換えになり副センター長として就任しました。



当時は、何としてもセンターとしての業績をつくるために、他のスタッフと東奔西走の毎日だったことを思い出します。「環境と経済の融合」をめぐる何回議論したことか。言うは易しで、実際に具体化するのには難しかった。しかも、当時の少ないスタッフの研究内容を考慮しなければならなかつ

たのです。北東アジアを対象にした研究のためには、海外（韓国・中国・ロシア等）との研究交流も求められました。すべてが一からのスタートでした。

写真は、我々が提案した学術ネットワークに入らないかというお誘いをするため、中国・吉林大学を訪問したときの写真です（二〇〇一年（平成十二年）、中国長春）。こうした交渉は、韓国、ロシアでも行いました。先方の理解が得られ、四か国研究機関によるシンポジウムを毎年持ち回りで開催してきました。

また、こうした連携方式を参考に、農業分野のみのネットワークを形成することもできました。「北東アジア農業農村発展国際シンポジウム」は、日韓中三か国に近年は台湾の研究機関も加わり、四か国・地域になっていきます。このネットワークを活かし現地調査等が可能になり、従来、極めてドメスティックだった私の研究領域は、一気に国際的な視点を持つことになりました。

ただどの外国語にも対応できないのが、私の悩みでした。研究上の限界はありましたが、いろんな方にサポートされて曲がりなりにも成果があったと思っています。

地域が私の許容範囲を広げてくれた

農業農村問題を通じ、富山県や市町村、JA、生協等とのお付き合いが増えました。各種委員会等会議に出席するたびに、現場の声の思いを聞いてきました。農村調査が私の基本的な研究スタイルですが、それをまとめる団体の声も入ってきたのです。団体の特質もあります。例えばJAは男性中心の組織ですが、生協は女性中心の組織です。やはり問題関心が異なり、アプローチの仕方も異なります。そうした中で、良い意味で私も鍛えられ許容範囲も広まりました。

感謝

三〇年間、経済学部教員・事務のスタッフ、極東地域研究センター教員・事務のスタッフ、学生、地域の諸団体の皆様ほかの陰で、豊かな人生送り無事定年を迎えることができます。皆様には、心より感謝申し上げます。

(さかい・とみお)

酒井先生の最終講義は、二〇二

一年二月二七日(土) 午後富山国際会議場で行われます。出席を希望される方は、メールにて事前に左記までお問い合わせください。極東地域研究センター(谷口)

tnana@ctg-u-toyama.ac.jp

母校だより

教員の異動

訃報

松岡潔先生 二〇一九(令和元年)十二月二九日逝去 九一才
世界経済論担当。昭六二年二月から平三年三月定年まで四年一月在籍。

新任(二〇二〇年九月一日付け)



山崎竜弥(やまざき たつや) 講師

所属学科…経営学科

担当…経営システム

最終学歴…明治大学大学院商学研究科博士前期課程修了

前職…明治大学商学部専任

助手

生年…一九九一年

出身地…富山県高岡市

ひとこと…

このたび、専任講師として着任いたしました。地元である富山大学の経済学部で勤務できることは非常にうれしく、また、大変ありがたいことであると思っています。

専門は経営情報システムで、なかでも主に情報倫理を中心に研究しています。企業をはじめとする組織によるロボット・人工知能など最先端の情報通信技術の開発と利用が、社会に対してどのような影響を及ぼすのか、経営学や商学、倫理学、社会学など様々な見地から研究しています。どうぞよろしくお願いいたします。

経済学部資料室だより

富山大学前身校旧蔵書の紹介

高岡高商は昭和十九(一九四四)年四月一日に経済専門学校と改称され、戦時非常措置により転換した高岡工業専門学校に併設された。その後、新制大学が発足する昭和二十四年までの期間に収蔵された図書には当時を偲ばせる蔵書印や寄贈印を見ることができ。

昨二〇一九年の「富山大学展」では「蔵書印の変遷」を中心に富山大学図書館の蔵書が展示された。

紹介する「パプア」「世界美術図譜」は高商、経専、工専、富山大学と「所有者」が変遷したもの。「学生が見た亜細亜とどこどころ」は富山薬学専門学校、富山医科大学、富山大学の蔵書印がある。また、「冷い戦争」(昭和二三年

原稿募集

少人数での会合、短信もお寄せください。

越嶺会報発行は、五月十日、十二月一日です。

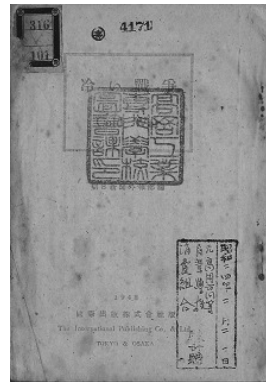
三月一五日、一〇月十五日までに到着すれば夫々の号に載せます。事前に連絡あれば空けておきます。

内容は、越嶺会員の同聚会やゼミ、或いは地域での会合や活躍の様子などです。

朝日新聞外報部編集・国際出版株式会社(発行)には、高岡工業専門学校の大きな蔵書印がある。但し、昭和二十四年二月二一日元高岡高等商業学校消費組合贈寄贈の印があり、その頃まだ消費組合は「高岡高商」の「名残り」があったのかとも思われる。

富山大学附属図書館には、オンライン蔵書未登録の前身校の蔵書

が保管されている。コロナ禍による資料室閉室期間中に図書原簿を精査したところ、現在、経済学部資料室で所蔵している高岡高商蔵書の他に、高岡の旧工学部分館が所蔵していた高岡高商、高岡経専、高岡工専蔵書が一万冊以上あることがわかった。



本部だより

越嶺会事業報告・決算／事業計画・予算

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会開催は取りやめ、事業報告・決算、及び事業計画・予算は総会に代わり会長副会長の承認を得て成立、執行することとした。

予算では、「困窮学生への支援」のため五十万円を富山大学学生支援基金へ寄付した。「富山大学基金室だより」を乞う参照。

林広麗様(学部四四回)



二〇二〇年五月十三日(水) 学部長室にて、(株)林インターナショナル代表取締役 林広麗様より、

経済学部教職員・学生に利用してほしいとマスク二千枚が寄附された。富山大学経済学部への恩返しとしてマスク寄附を希望された。富山県華僑華人会代表としても活躍されている。

寄付金御礼

左記の方々から寄付いただきました。紹介して御礼申し上げます。

- 二万円 橋本洋二様(学部21回)
- 二万円 穴田 茂様(学部22回)
- 一万円 中村 徹様(短大10回)

(中村様、穴田様、橋本様には修学支援基金へも多額の寄付をいただいております。)

百周年に向け準備会設置

二〇二四年(令和六年)秋には、母校が旧制高岡高商創立から数えて百年の大きな節目を迎える。記念事業のテーマや規模・募金方法等につき検討する第一歩として十一月十八日「準備会」を会長・副会長等をメンバーに設置した。

0000号訂正(第七頁)

入学定員

(誤) 三三五(昼) + 三三〇(夜)
(正) 三三〇(昼) + 三三〇(夜)

越嶺会 決算表(平成31(2019)年4月1日～令和2(2020)年3月31日)

1.一般会計

単位:円

収 入 の 部	決算額	支 出 の 部	決算額	備 考
前 年 度 繰 越 金	25,410	越 嶺 会 基 金 へ 繰 入	0	
入 会 金 ・ 終 身 会 費	5,760,000	事 務 費	272,982	
総 会 等 懇 親 会 費	680,500	通 信 費	2,796,329	会報86、87号発行
会 報 発 行 協 力 金	1,109,000	印 刷 費	1,255,015	会報86、87号発行
利 息 収 入	19,161	手 数 料	97,537	郵便振替
名 簿 代 収 入	30,000	旅 費	138,000	支部総会出席旅費
寄 付 金	45,538	総 会 費	657,620	2019.5.29総会
越 嶺 会 基 金 より	0	人 件 費	1,411,137	専任事務局員給与等
		会 議 費	284,650	2020.1.30新年会
		慶 弔 費	13,564	
		卒 業 祝 賀 会 経 費	0	R 2.3.24ANAホテル中止
		学 部 助 成 費	100,000	
		同窓会連合会分担金	77,300	5万+30年度新入会員数×100円
		支 部 助 成 金	35,000	若手会員優待分補填
		名簿代未収金会計へ	15,000	名簿会計へ振替
		予 備 費	13,000	大学OB対抗ゴルフ大会出場助成
		翌 年 度 繰 越 金	502,475	
合 計	7,669,609	合 計	7,669,609	

2.越嶺奨学基金会計

収 入 の 部	決算額	支 出 の 部	決算額	
前 年 度 繰 越 金	81,303	事 業 費	100,000	ゼミナール協議会へ助成
利 息 収 入	20,000	予 備 費	0	
越 嶺 奨 学 基 金 より	100,000	翌 年 度 繰 越 金	101,303	
合 計	201,303	合 計	201,303	

3.基金

基 金 名	H31年4月1日	R2年3月31日
越 嶺 会 基 金	24,400,000	24,400,000
越 嶺 奨 学 基 金	29,400,000	29,300,000
合 計	53,800,000	53,700,000

90周年記念会員名簿会計

基 金 名	H29年4月1日	H29年度回収	H30年度回収	H31年度回収
名簿代金未収金	250,000	175,000	60,000	15,000
広告料未収金	20,000	20,000	0	0

越嶺会 予算(令和2(2020)年4月1日～令和3(2021)年3月31日)

1.一般会計

単位:円

収 入 の 部	予算額	支 出 の 部	予算額	
前 年 度 繰 越 金	502,475	富山大学修学基金へ寄付	500,000	
入 会 金 ・ 終 身 会 費	6,000,000	事 務 費	300,000	
総 会 等 懇 親 会 費	200,000	通 信 費	2,800,000	会報88、89号発行
会 報 発 行 協 力 金	1,200,000	印 刷 費	1,260,000	会報88、89号発行
利 息 収 入	15,000	手 数 料	100,000	郵便振替
名 簿 代 収 入	20,000	旅 費	50,000	関東・福井支部総会出席旅費
越 嶺 会 基 金 より	400,000	総 会 費	0	
		人 件 費	1,450,000	専任事務局員給与等
		会 議 費	300,000	2020.秋
		慶 弔 費	15,000	
		卒 業 祝 賀 会 経 費	1,300,000	R 3.3.23ANAホテル予定
		学 部 助 成 費	100,000	
		同窓会連合会分担金	78,800	5万+R1年度新入会員数×100円
		支 部 助 成 金	20,000	
		予 備 費	63,675	
合 計	8,337,475	合 計	8,337,475	

2.越嶺奨学基金会計

収 入 の 部	決算額	支 出 の 部	決算額	
前 年 度 繰 越 金	101,303	事 業 費	150,000	
利 息 収 入	10,000	予 備 費	11,303	
越 嶺 奨 学 基 金 より	50,000			
合 計	161,303	合 計	161,303	

3.基金

基 金 名	R2年3月31日	R2年4月1日
越 嶺 会 基 金	24,400,000	24,000,000
越 嶺 奨 学 基 金	29,300,000	29,250,000
合 計	53,700,000	53,250,000

各支部だより

関東、関西、東海、東北、石川、福井支部総会は中止しました。

また、越嶺会ゴルフ大会も今年
は中止としました。来年令和三年
は八月二十一日(土)・第三土曜
日に太閤山CCで開催予定です。

関東越嶺会 役員交替

総会に代わり五役会議(正副会
長、正副代表幹事、監事、会計)
メール会議で承認されました。

(令和二年七月関東越嶺会報既報)

会 長 飯塚 修(学部二五回)
副会長 大松日出夫(学部五回)

塚 光雄(学部十一回)
永井雅律(学部二一回)

土屋民雄(短大四回)

監 事 般若義一(学部十八回)

西垣栄一(学部二八回)

草野圭司(学部二八回)

柿本浩和(学部三一回)

代表幹事 林 明宏(学部二八回)

五福会長 西垣栄一(学部二八回)

バーディー会代表世話人

今井修一(学部十九回)

Eワイン会世話人
村山 修(学部二五回)

Eトモ会世話人

伊東春生(学部三三回)

関東観て歩く会世話人

渡邊慶孝(学部十四回)

第十三回越嶺会石川支部

オープン親睦ゴルフコンペ

コンペは、例年の土曜開催から
日曜日に、そして会場も初めてゴ
ールドウインにて十月四日に行わ
れました。



今年にはコロナ渦中であって開催
すべきか否か迷うところでしたが、
越嶺会本部最高顧問の中尾さんの
「楽しみにしている。」とのメッ
セージや某長老の後押しもあって
開催に踏み切ったものです。

こんなご時世でも昨年からは少
し増えて四組十五人の参加を得ま
した。

ゴルフ場での検温、アルコール
消毒のほかマスク着用と細心の注
意に加え、表彰式やパーティの中
止、受付場所での賞品渡しに流れ
解散という寂しい会ではありまし
たが、それぞれの組では久しぶり
の再会と好プレー・珍プレーに和
やかなひとときを楽しんだものと
思われます。

例年最後の講評に代え中尾さん
の激励のお言葉を受けて一組目が
スタートしました。同伴した橋本
さんの四年間の越嶺会本部会長へ
の労いのお言葉もありましたが、
任期途中ということで、ややフラ
イングの気もあつたようです。

また、今年にはゴルフ場が易しか
ったのか皆さんの力が増したのか
平均スコアが過去最高一〇一と、
九〇台が見えてきました。中尾さ
んの「富山大学は頭のいい者ばか
り。三桁は考えられない。」との
数年前のお言葉が思い起こされま
す。もちろん中尾さんとは高齢で
あってもしつかりと二桁をキープ

されたこと申し添えておきます。
ただBWの方からは「レベルアッ
プより元石川支部副支部長の中山
さんら下層部の常連の方々が参加
してほしい。」と、伝えてほしい
とのことでありました。



優勝・浅井清志さん

優勝は、石川のエース浅井さん
が富山から取り戻しました。賞品
とともに中尾賞の賞金もお渡した
ところです。

今日参加した浅井さんと私と中
本秀史(三三回)さんで、ダブル
ペリアという実力より運そのもの
であつたかもしれませんが、昨二
〇一九年三月の石川県大学対抗戦
で二団体同時ではありますが初優
勝をいたしまして、一昨年の準優
勝からステップアップし富山大学
の名を高めたものと思います。こ
の際にご報告しておきます。

次回は某長老や中尾さんも「来
年は十月の第一土曜がいいな。」
ということでございますので、ぜ
ひ皆様にもよろしく願いまするも
のであります。

上位成績は次の通りです。

優勝 浅井清志(三四回)
N73.8 G87(ベスグロ)
二位 河原 靖(二八回)
三位 小野 崇(二〇回)

参加者

八回 中尾哲雄
十四回 岡田 茂
十七回 清水和雄
文一九回 早川賢治
二十回 太田博之、小野 崇
二一回 橋本洋二
二八回 河原 靖
三三回 中本秀史
三四回 浅井清志、多田隆保
三九回 泉屋圭三
四一回 西田恵介、本田泰郎
院 九回 福井幸博
〔幹事・太田博之(二〇回) 記〕

会員ひろば

スケッチ絵葉書カレンダー
発行十五周年記念展示会

越嶺会報の表紙絵をお願いしたこともある(二〇〇五年七月越嶺会報第五六号)、小橋啓一さん(学部十二回)のスケッチの展示会が、とやま自遊館で十一月一日から三十日まで開かれた。
小橋さんは、「路面電車のある

街・富山」をテーマに市内を走る電車をやわらかなタッチであたかく描いておられる。とやま自遊館が発行発売している。(事務局記)



宇奈月温泉

木管事件碑をきれいに

河田 稔(学部十五回)

宇奈月温泉街から車で約十分、宇奈月ダム湖畔に「宇奈月温泉木管事件碑」がある。大正時代に開湯した宇奈月温泉の歴史はもとより、日本の民法に影響を与えた事



件を伝える石碑である。

宇奈月温泉は、黒部川上流約七キロの黒難温泉を源泉とし、そこから引湯している。開湯当時、土地の利用権を有償、無償で確保して温泉を引く木管を敷設したが、途中に二坪ほど利用権を確保していない私有地があった。この土地を買い取った新たな所有者が引湯管を撤去するか、周辺の傾斜地全体を法外な価格で買い取りすることを温泉会社求めたものの、応じなかったため訴訟となった。

第一、二審が請求を退けたのに続き、大審院(当時の最上級審)も一九三五年十月、初めて「権利の濫用」という文言を使って請求を棄却した。この判例は戦後の改正民法で成文化され、すべての私権に適用される重要なものになっている。



作業風景

碑は二〇〇二年に建立。下流に宇奈月ダムがつけられ、引湯管が水没、移設されたのを契機に、事件の跡地があることを示すために建てられたもので、富山大学経済学部教授、高岡法科大学長を務められた吉原節夫先生の解説文が付いている。

宇奈月温泉事件は、多くの法律書や論文に引用されており、石碑を訪ねる法学関係者や観光客は少なくなく、宇奈月温泉地域の観光スポットにもなっている。

ただ建設されてから月日がたち、碑の文字が汚れや苔で読み辛くなっていたため、地域でいろんな活動を行っている「宇奈月の歴史と文化を楽しむ会」が石碑をきれいにしようとして清掃を企画した。六月二日、新型コロナウイルス感染拡大で来訪客がほとんど見られなかつ



吉原先生の解説文立札

た時期だったが、会員十五人が集まり、苔を取り除き、ブラシなどで磨くとともに周辺を除草。また石碑の文字のペンキも塗り直し、石碑の姿を新たにした。

石碑の清掃は初めての試みだったが、宇奈月温泉木管事件の歴史の意義を多くの人に伝えていくために、これからも継続的に見守っていきたいと思っている。

みんなが集うきれいな浜辺へ

小栗 清光 (学部十八回)

この八月にモーリシヤスで日本のタンカーが座礁、重油流出が問題となっています。遡ること二十二年の一九九七年一月二日未明にナホトカ号が島根沖で沈没、漏れた重油が一月七日越前海岸三国に漂着しました。私が富山に着任後、最初の仕事が漂着重油回収用に二百本のドラム缶の調達でした。

「蜷気楼の見える海岸をきれいにする会」の活動はその年からでした。

その活動をしている魚津市大町海岸はまた、蜷気楼の身投げをする浜であり、一九一八年米騒動が始まった米蔵もこの浜にあります。階段護岸になったため素足で海に入ることができる水辺があり散

歩や憩いの場が増え、僅かにできた草地に浜昼顔、浜エンドウ、海蘭(うんらん)の海浜植物も楽しめます。

しかし、いろんなゴミも打ち上げられます。海底からの海藻、川からの流木や大量の萱枯草等の自然物、肥料袋等のビニール、ペットボトル、空き瓶空き缶等の人造物にはときにハングル文字が書いてあります。



ゴミ拾い活動

このゴミを毎日のように片付けている人がいました。出勤前の犬の散歩や釣りの折に見えて、一

九九七年四月に五〇歳前後の仲間



記念写真

で我々も清掃をやるうと決めました。一九九九年食品容器環境美化協会のアダプトプログラムに登録翌年から地元大町小学校の児童・先生方も参加され会に活気が出て

きました。集めたゴミは数量を記録して市が回収します。

海岸を愛する者として砂浜維持のため土砂投入の働きかけや、歴史ある万灯台の保存呼びかけにも参加。児童たちに環境への意識向上と海の恵を味わってもらおうと学校でのトコロテン教室も開いてきました。

この会が二十年以上もなんとか続いているのは、この海岸を愛していること、毎月の活動を強制せず有事のある人は遠慮なく休んでもいいことに加え、親子連れで参加されたりすること、和やかになったりすることかも知れません。

昨年二〇一九年「魚津浦の蜷気楼(御旅屋跡)」が、気象現象に関係するものは初めてという国の文化財に登録されたことで、この大町海岸が脚光を浴びることとなり先細り感のある活動継続へのプレッシャーを感じています。

鱈釣りの砂濱作るは延槻の
歌碑を戴く川の流れよ

小栗清光よむ

我が近況としては、昨年二〇一九年、家持賛歌秀歌百選に選出され北日本新聞に掲載されました。七十の手習いで始め、黒部短歌会、富山県歌人連盟に参加しています。



人生で初めての経験

竹澤喜孝(学部二二回)

年金暮らしの中、すこしでも地域に貢献したいと、六年前に自治会長を引き受けました。こういうコロナ禍になるとは、予想もしなかった昨年（二〇一九年十月）に初めての経験（先生）をしました。

私が自治会長をしている東京都板橋区加賀（二五〇世帯数）は江戸時代は加賀藩の二十一万坪余の下屋敷があつた歴史的なエリアです。今は大規模マンションが建ち、子育て世代が多い活力ある地域です。帝京大学、東京家政大学がある文教地区でもあり、石

神井川が流れ、緑と自然に恵まれた環境です。

地域の金沢小学校の校長さんから、五年生（三クラス約一二〇名）に「総合学習」の一環で、自分たちの住んでいる「マイタウンを知る」という学習があり、そのスタートに当たり、この地域の自治会長にお願いしたいと打診がありました。地域の未来を担う子供のためにと即刻快諾しました。

その授業まで一週間もなく「マ
イタウン（私のまち）」のテーマ
で、早速、自治会／郷土資料館の
写真等を集め、「自治会は何をす
るの」「町内会の盛り上がり」



「街の人との関わりあい」あるいは「石神井川昔は土手と洪水」など構成／ストーリーを考え、「PowerPoint」に貼り付けました。教材づくりには三日三晩不眠不休状態でした。（女房からどうしてそこまでやらないといけないのかと言われました。私の体を心配したのでしよう、感謝。）そのおかげで、大作の三十枚のプレゼン用「PowerPoint」の教材が見事にできました。（自画自讃）

その「マイタウンを知る」の総合学習のテーチングは子どもたちにも理解しやすく（私が思っているだけです。）、熱心にメモを取っていました。また校長先生

はじめ5年生担任の先生からも感心されました。自治会長さんが御自ら「PowerPoint」の教材を作るなんて驚きましたと。

ということ、四十五分の授業でしたが、子どもたちへの期待を込めて、わたしの「加賀」への思いを熱く語りました。次につながる子どもたちに、このマイタウンの学習が今後5年生なりに、「加賀」という街の将来を考える機会になればと思っています。

余談 授業を始める前に、五年生の子どもたちに「私を知っている人、手を挙げて」と訊きましたら、一二〇人のうち、六、七割が手を挙げてくれました。わたしも結構有名人ですね。(笑)

また、板橋区加賀の、湯川博士も加わり宇宙線研究の聖地と言われた旧理化学研究所板橋分所について二〇一七年国史跡指定済ですが、二〇二五年産業ミュージアムに再整備されることについて、日経新聞社会面に、「史跡を次代につないでいきたい」との私の自治会長としてのコメントが載りました。現役時は日経新聞に自分の名が載ると思っていませんでした。光栄で名誉だと自負しております

七十周年記念誌のこと



昨年令和元年、創立七〇周年を迎え、五月二六日(日)に祝賀会では和やかに懇親を深めることができました。「七十周年記念誌」(A4判七九頁)を、幸い特に寄付を集めることなく作成、全戸配付しました。

卒業論文をお返しします

返却ご希望の方は、越嶺会事務局までご連絡ください(メール、葉書、Fax等)。
送料はご負担願います。受領書返送の際に切手等でお願います。

卒業論文を受け取られた方の手紙

前略

この度は卒業論文をご返却頂き誠にありがとうございました。四四年の長きに亘り保管頂き関係の皆様に厚く御礼申し上げます。この卒業論文を手にし、およそ半世紀前の出来事が思い出されました。昭和四十七年四月の入学式は

学生ストライキで中止。授業が始まったのは五月十一日。しかし、その後も授業料値上げ反対の無期限スト等もあり、I期が終了したのが翌年の一月でした。学園紛争で校内が荒れた最後の大学が富山大学であったと記憶していますが、これが後々まで尾を引き四年間で卒業させるためにその後の春休み、夏休みは四年次まで短縮されました。また一般教養も通常であれば二年次も受講できたと思いますが、このチャンスが無く初年度に必修のドイツ語を一単位落とした同期の学生(実に数十人)がその単位取得のため卒業が半年遅れるというところもありました。就職活動を行なった昭和五〇年はオイルショックで一年先輩は入社式が一月遅れ自宅待機と言う時代でしたので、同期の就職活動は大変厳しいものがありました。

入学時、卒業時と良い思い出はありませんが、卒業論文を提出出来たということはそれなりに学園生活も落ち着いてなんとか楽しく学生生活を謳歌したのではなかったかと記憶しております。

最後に、コロナの時代もまた大変厳しいものがありますが、富山大学が益々興隆され世に優秀な学生を送り出されんことを願っております。

令和二年八月二九日 早々

越嶺会事務局 殿

昭五一年三月卒・第二四回
寺戸弘之

当時の状況は後記でしたが、ストが終了した後のスケジュールは学生には非常に厳しいものでした。

*当時の状況

S47年	4月11日	入学式中止
	5月11日	I期 授業開始
	10月18日～12月?日	無期限スト
S48年	1月22日	I期試験終了
	1月24日～3月20日	II期授業
	4月2日～4月14日	II期授業
	4月16日～7月28日	III期授業
	9月1日～9月14日	III期試験
	9月17日～10月22日	II期の残り 授業
	10月22日～10月27日	II期試験

同窓会連合会だより

ゴルフ、総会、ホームカミングデーは中止しました。
また、全学の学位記授与式、及び入学式も中止されたため、それぞれの特別講演も取りやめた。

寄贈図書御礼・紹介

新里泰孝・元経済学部教授から「アクティブラーニングで学ぶ震災・復興学 放射能・原発・震災」として復興への道」



編著 庄司美樹・新里泰孝・橋本勝
二〇二〇年九月一日六花出版発行
A5判一七六頁一六五〇円(税込)

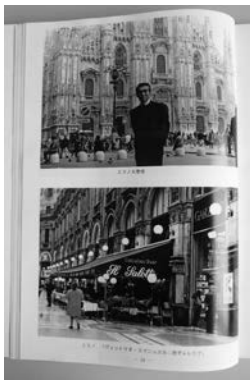
富山大学教養科目の授業実践をもとに取りまとめたもの。
東日本大震災等の震災・復興との主題は文系・理系の総合的知識が必要であり、未解決の問題には科学的コミュニケーションの意識を持つて考えることが有効である。
よって、各章末にグループで討議する設問等のアクティブラーニング実践に係る部分を設けてある。
執筆者に、経済学部の大坂洋准教授、龍世祥教授も加わっている。

学部七回 福井詮治様から

「外国拝見（海外旅行の記録）」

A4判一五四頁 平成二八年八月発行 非売品

公私取り混ぜて五一歳の時一九八九年一〇月から二〇〇七年六月まで十一回海外へ出掛けた記録をまとめたもの。他に東南アジアへ工場視察へ出掛けたが除いてある。



学部八回 中尾哲雄様から

「故郷は心の根っこ」



やさしかった母 (3)

赤バットの思い出 (6)



A4判二四頁 令和二二〇二〇年六月刊。非売品

「富山県人」に連載していた同名の随筆をまとめたもの。富山県人・高島さんによれば、「楽しんで加筆され・すばらしい仕上がりで、心がこもった本になっています。」表紙や各頁の挿絵は淳子夫人が描かれた。関係の写真や新聞記事なども加えてある。

学部十四回 石田五十六様から



石田五十六著 一三五頁、二〇二〇年四月一七日発行、中日新聞社・発売 二千円(税込アマゾン、楽天等にて「そば読本」で検索可。

耳学問・紙学問の学者・評論家や食べ歩きオンリーの方には書け

ない、そば読本の決定版といえる内容になっている。そば万般を網羅した構成になっており目次を見れば「そば事典」にもなる。

趣味のそば打ちや自前のそば栽培に終わるはずであったが、人の縁で農水省への「品種登録」（飛越一号、普通そばで全国二五番目、東海北陸では初）に成功してからは、地域振興と国産在来種そばの美味しさを伝える役割のようなものを感じ出したことである。

通算二〇年にわたる栽培・乾燥保存・そば打ち・つゆ作り・茹で・振る舞いの一連の経験は、世を席巻する「そばの嘘や偽装」を何とかしたいとの熱い気持ちにさせ、「そば読本」の出版を決意させた。

本に加え、東京新聞、中日新聞が「わたしの転機」の見出しで記事とWEB発信している。



会員の訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします

卒業回	お名前	ご命日	卒業回	お名前	ご命日
学部教員	松岡 潔	令 1 .12 . 29	学部13回	浦崎 威	令 2 .11 . 2
高商19回	齋藤 弥吉	令 1 . 8 . 4	学部15回	安田 浩子	令 2 . 7 . 2
	原 憲夫	令 1 .11 . 9	学部18回	中村 裕平	令 2 . 3 .31
学部 1 回	南部 喜作	令 1 .11 . 9	学部21回	青野 五雄	令 2 . 4 .30
学部 2 回	村井 正義	令 2 . 9 . 5	学部24回	中司 高生	令 2 . 9 .21
学部 4 回	三尾 幸三	平 31 . 1 .21	学部25回	近江 一清	令 2 . 1 .21
学部 5 回	酒井 清美	平 30 . 5 . 3	学部29回	貴堂 晋	令 2 . 2 .11
学部 6 回	金田 俊一	令 2 . 3 .19	学部38回	松下 浩久	平 31 . 4 .26
	林 武男	令 2 . 7 . 7	短大 3 回	河井 秀昭	令 1 .10 .12
学部 8 回	井上 繁康	平 31 . 4 .30	短大 5 回	山本 雅紀	平 30 .11 .29
学部 9 回	西本 久和	令 1 . 8 . 6	短大15回	五百崎雅之	令 1 .12 . 9
学部10回	平内 籌輝	平 31 . 3 .26	短大23回	千田 満	令 1 . 7 .30
	和田 修	令 2 . 4 .23			

過日、富山から二時間弱の古川町に石田さんを訪ね話を伺った。さらに時間をかけて石田さんが生まれ育った古川の街を案内していただいた。(事務局・米原 記)

地元飛騨市古川町の施設「味処古川」で手打ち生麺・商標名奥飛騨朴念そば」の提供(土日限定)や乾麺の通販を行なっている。氏は奥飛騨朴念そばの会長、奥飛騨朴念そば営農組合副組合長



会報発行協力金の願い

低金利のため越嶺会基金から果実が生じない状況です。財政支援のお気持で同封の振込用紙で送金いただければ有り難く存じます。勝手ながら、三年分三千円以上をお送りいただけると助かります(手数料が同じです)。

なお、宛名シールの右下に例えば「感謝 協力金お振込み(Ｒ2年まで)」と印字してある方は、令和二年分まで戴いていきますので、振込用紙も入れておりません。

また、高商の方には入れておりません。永年のご支援に感謝いたします。

令和2年6月19日

各学部同窓会会員 様

困窮学生支援のための修学支援基金寄附へのお願い

富山大学卒業生・修了生の皆様には、日頃から、本学の教育・研究・社会貢献及び大学運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

5月25日に47都道府県全ての「緊急事態宣言」が解除され、富山大学でも感染防止対策の実施、3つの密を徹底的に避け、6月から遠隔授業と並行して、実験・実習等の一部科目では対面型授業を再開させ、学生も徐々に学生生活を取り戻しつつあります。

しかし、社会全体の経済停滞による保護者からの仕送り減、アルバイトの休止等により生活困窮に陥った学生がいることから、本学では、これまでに集めた富山大学基金から約7千5百万円を拠出して、困窮学生（約1500名）への生活支援として1人当たり5万円の支援を実施いたしましたが、生活困窮が改善しない学生達が署名活動を行い、全学生への富山大学独自の学生支援の要望の提出があり、まだまだ支援が行きわたらない状況であります。また、国の「学生支援緊急給付金」（10万円、非課税世帯20万円）も活用しますが、全学生の1割程度（約900名）にしか支給されないことが判明いたしました。

4月末より富山大学基金（一般・修学支援）への寄附をお願いし、現在まで約2千4百万円のご厚情を賜りましたが、まだまだ多くの困窮学生の修学支援には足りない現状があります。

つきましては、度重なる寄附のお願いで申し訳ありませんが、困窮学生への修学支援寄附金の追加目標額を5千万円として、引き続き、教職員及び一般の方に寄附をお願いするとともに、皆様方の後輩である本学学生への修学支援を改めてお願い申し上げる次第です。

同窓会連合会会長	寺 林 敏
人文学部同窓会会長	米 原 寛
教育学部同窓会会長	中 村 義 朗
越嶺会会長	橋 本 洋 二
理学部同窓会会長	高 井 正 三
仰岳会会長	坂 井 孝 幸
医学部同窓会会長	田 淵 英 一
富山薬同窓会会長	稲 田 裕 彦
創己会会長	嶋 光太郎
富山大学長	齋 藤 滋

【お問合せ先】〒 930-8555 富山市五福 3190
富山大学基金事務室
TEL：076-445-6178 FAX：076-445-6014
E-mail：kikin@adm.u-toyama.ac.jp



おもしろい
大学

学生からの お礼メッセージ

今年度、新型コロナウイルス感染症による、富山大学独自の緊急的経済支援を頂き、誠にありがとうございました。まさか、たった2ヶ月で新型コロナウイルス感染が拡大し、それに伴い世界の経済活動が停滞する状況になってしまうとは、想像もしていませんでした。さすがの日本経済も大きくダメージを負い、労働者全体に多かれ少なかれ影響を及ぼしています。私は、ベトナムからの留学生で、仕送りはほとんどなく、奨学金とアルバイトで生活しているのですが、一時期、この新型コロナウイルスの影響でアルバイトがなくなり、とても困りました。そういった困難な状況の時、大学の経済支援を頂き、何よりも大変嬉しく、普段の学生生活に戻れました。今は、以前のようにアルバイトをすることができています。日本のみならず世界のコロナ災害が早く終わるように祈っています。工学部4年(留学生)



寄附は新しくなった富山大学基金のホームページからお申し込み及び、ご入金いただけますので、ぜひご利用ください。

富山大学基金だより

第 16 号

2020.10.1 発行

新型コロナウイルス感染症による社会・経済的影響

「富山大学基金が緊急支援を実施」

日頃から富山大学基金への多大なご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が、全国的かつ急速なまん延により国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある状況で、4月16日に政府より新型コロナウイルスの感染防止に向けた「緊急事態宣言」が全国に拡大され、外出の自粛、アルバイトの休止等により学生の生活困窮者に対し経済的支援を行う目的で、富山大学基金を活用した大学独自の給付型支援制度を緊急に立ち上げ、5月12日から支給を開始いたしました。

この給付型支援金は、授業料免除者や急激な生活に困窮をきたした学生（私費外国人留学生を含む）に、5万円を支給するもので、これまで申請のありました学生延べ1,335名に対し合計6,675万円の支援を実施して参りました。

また、文部科学省等の「学生支援緊急給付金」が整備され、この制度も活用しつつも、急激な生活困窮をきたした学生への支援に至っていない現状であります。今後、第2波による新たな支援やメンタルヘルスケア等の課題への対応が必要となつてきます。

本学では、できる限りの学生支援を行う予定ですが、感染症の収束が見えない中、必要な財源が不足しております。

つきましては、コロナ禍による経済的困窮、今後の学生生活の不安を護るため、引き続き基金へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

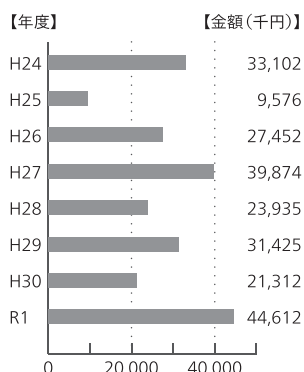
富山大学基金の寄附受入状況：令和2年度

期間	寄附件数	寄附金額
令和2年度4月～8月	722件	40,156,627円

経済的に困窮した学生(留学生)を支援しようと、一般の方、同窓会連合会、名誉教授の会及び教職員へ、紙面やホームページ等で依頼をしたところ、一般基金84件9,611,627円、修学支援基金638件30,545,000円の多数のご寄附が寄せられました。また、各同窓会からも積極的な支援を賜り、4月からの4ヶ月間で寄附件数、寄附金額が昨年度1年間の実績に迫るような状況であります。引き続き、富山大学基金へのご支援をお願いします。

富山大学基金だより No.16 2020.10.1

●寄附金額の推移



写真上：可動式の机・椅子及び電子掲示板を設置し、アクティブラーニングに対応した学習環境を整備しました。



写真上：留学生帰国報告会資料。

富山大学基金事務室

〒930-855 富山市五福 3190
Tel. 076-445-6178
Fax. 076-445-6014
E-mail :
kikin@adm.u-toyama.ac.jp
URL :
[https://tomidaikikin.
adm.u-toyama.ac.jp/](https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp/)



富山大学基金の寄附受入状況：令和元年度

●寄附実績（令和2年3月31日現在）

期間	寄附件数	寄附金額
令和元年度	634 件	44,612,753 円
累計	3,084 件	231,292,960 円

平成 24 年度から富山大学基金が設置され、この 8 年間に学内の教職員はもとより、企業法人の皆様方、名誉教授の先生方、事務職員のOBの皆様方並びに同窓会連合会のご協力の下、各学部と同窓会の皆様方のご理解とご協力により、約 2 億 3 千万円のご支援を賜りました。

また、令和元年度では、過去最高の年間４千４百万円のご寄附があり、教育・研究・学生支援及び留学支援等に有効に活用させていただきます。

●収支報告(単位:円)

平成 30 年度 繰越額	令和元年度			令和 2 年度 への繰越額
	収入		支出	
	寄附金額	利息	支援事業	
172,189,644	44,612,753	241,569	44,943,098	172,100,868

●令和元年度の主な支援事業

①学生海外留学支援事業 ②学習環境の充実(アクティブラーニング) ③グローバルSD研修事業 ④国際交流支援事業 ⑤学習環境整備(中央図書館空調等)等

富山大学基金事業 奨学生帰国報告会

令和2年7月29日(水)に「富山大学基金事業学生海外留学支援プログラム」にて奨学金を受給し、留学を終えた学生5名の帰国報告会を実施いたしました。

© 理工学教育部 地球生命環境科学専攻 博士課程 3 年 片境 紗希

留学機関：ハワイ大学マノア校（アメリカ）

留学期間：令和元年11月～令和2年2月



この度は、富山大学基金留学支援プログラムの奨学生としてご支援いただきまして誠にありがとうございました。

私はアメリカのハワイへ 3 か月間、研究室留学をいたしました。滞在中は、ハワイの大自然と美しい海に囲まれながら、研究活動や現地の方々との交流をし、大変充実した留学生活を送ることができました。

“英語を学ぶ”ことは、日本に住んでいながらも十分に習得することはできます。しかし、海外の文化や価値観の違いは、

やはり現地へ行くことによって初めて感じることができます。私は今回のプログラムを利用して日本から離れた場所で過ごせたことで、物事に対する視野の広がったことはもちろん、改めて日本の良さも実感することができました。

3 か月という短い期間ではありましたが、研究面だけでなく自分自身の人生の中でもかけがえのない日々となりました。この留学で得たもの、感じたものをいろんな場面で発揮していきたいです。

住所等変更通知のお願い

(FAX : 076-445-6419)

住所や姓名等に変更のあった方は、FAX でお知らせ下さい。(メール・葉書も可です)

		卒回	回	年	月卒
お名前		(旧姓)			
新住所 〒□□□-□□□□					
新電話 ()-()-() 新FAX ()-()-()					
差しつかえなければメールアドレス					
勤務先					
住所 〒□□□-□□□□					
電話 ()-()-() FAX ()-()-()					

越 嶺 会

〒930-8555 富山市五福3190 富山大学経済学部内

TEL (076) 445-6411 (ダイヤルイン)

FAX (076) 445-6419

郵便振替 00710-9-14562

越嶺会ホームページ : <http://www3.u-toyama.ac.jp/etsurei>

e-mail etsurei@eco.u-toyama.ac.jp